

あさがお

広報紙『あさがお』第2号 平成30年4月1日発行
 社会福祉法人 名張厚生協会 名張養護学園
 〒518-0721 三重県名張市朝日町 1263-3
 Tel.0595-63-0717 Fax0595-63-0721

「春の到来にあわせて きれいに咲きました」

施設の創設期から子どもを見守って
 くれる「桜」の木に、例年より
 早く花が咲きました。



地域の方からも「学園の桜、今年も
 きれいやな」と言われています。

旧園舎園庭でずっと子どもたち
 の成長を見守ってきてくれました。

新園舎園庭に植えられた桜の木
 も、子ども・職員の成
 長を見守り、毎年き
 れいな花を咲かせ続
 けて欲しいです。

巻 頭 言

施設長
 山口 伴尚



現在の入所児童数

本園 28名
 ／定員 30名
 地域小規模「若葉」
 5名
 ／定員 6名

桜が咲き誇るこの季節は、子ども達との別れと、出会いが交差する季節でもあります。今年も、大学進学、就職、家庭復帰などにより児童が学園を巣立っていきました。希望と不安を胸に、旅立っていく彼らが、様々な体験と出会いを重ねながら、大きく成長し、健康で幸せな日々を送ることを祈らずにはおられません。そして、新たに学園に入所してくる子ども達が、学園の生活に慣れ、将来の夢を育みながら、笑顔で暮らせるよう努力していきたいと心を新たにしています。

先ごろ、学園の子ども達を対象にアンケートを実施しました。その結果、学園が居心地よく安心して生活できるとの回答が71%、職員の対応が良いとの回答が81%と、概ね肯定的な回答が寄せられました。子ども達が、学園で幸せを感じ、成長していけるよう支援に努めてまいります。

今、児童養護施設を取りまく環境は、大きく変化しています。時代の変化に対応して、学園の運営についても様々な面で改善、改革が必要とされています。不易流行という言葉がありますが、「児童の最善の利益」という理念を原点に、様々な改革に挑戦していきたいと考えています。

ユニット便り

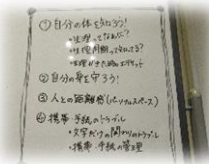
どリーむ・にじ

あおぞら・ひだまり

3月3・8・13・15日

『心と体のおはなし』

ユニットに分かれて、年齢に応じた心と体の学習会を行いました。



「命の大切さについて」「プライベートゾーンについて」「自分の気持ち・相手の気持ち」「大人になる女の子たちへ」「子ども同士の距離感について」「お風呂の入り方や身だしなみ」「性的な言動に関して」「カッコいいおとなになるために」「自分の体について」「自分の身の守り方」と年齢や性別に応じ、自分の心と体を大切にしてもらうための学習をユニット職員と一緒に学習しました。

にじユニットでは、実物大の赤ちゃんの人形(3キロ)を使い、抱っこしてみたり、産着を脱がせ、オムツ交換といった体験を通して、自分自身が大切にされてきたことを再確認し、生命の大切さを学びました。

どリーむユニットの中高女児へは、自分の体について生理の周期や生理時のエチケットについて、またデートDVや危険な目にあわない為の予防について、職員がロールプレイにより、具体例を見せる学習を行いました。

あおぞらユニットでは、パーソナルスペースについて、自分と相手の適度な距離についてや、不快に感じる言葉について学びました。

ひだまりユニットの中高生男児は、自分の体の成長や、生殖器の働きや夢精などの生理現象について学びました。

どのユニットも職員と一緒に学習したことで知識の共有を図ることができる機会となりました。



ほっとニュース

『お誕生会』

昨年の4月からユニットごとで誕生会を開いています。



ユニットで調理を始めた昨年の4月から、誕生日を迎える児童がいるユニットでは、その日の夕食を誕生日児童の希望メニューを取り入れ、ユニット児童みんなでお祝いをしています。

これまでの希望メニューを少し紹介すると、「焼き肉」「お好み焼き」「ハンバーグ」「お刺身」「お鍋」「たこ焼」「お寿司」「手作り餃子」等々、どの子も大好きなメニューが並びます。

夕食後はケーキを囲み主役の児童がロウソクの火を吹き消し、みんなでワイワイとお話をしながらケーキをほおぼっております。



行ってきました

『スキー・スノーボード体験』

2月10日(土)

ヨゴコーゲンリゾート☆ヤップ

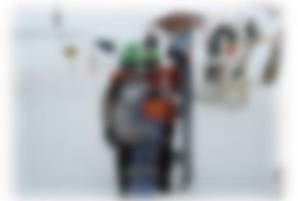
ウィンタースポーツを経験する機会がないこの地域、今回は少数での体験となりましたが、ついに雪の積もるゲレンデに行くことが出来ました。



最強寒波到来の今冬、園庭に積もる雪で雪合戦、小さな雪だるま作りもできましたが、スキー・スノーボードはできません。『スキー、スノーボードがしたい』とかねてから熱望する声をついに実現することが出来ました。

当日は滋賀県長浜市余呉町にあるヨゴコーゲンリゾート☆ヤップへ。小学生の高学年児、中高生の希望者と少人数での参加でしたが、早朝に名張を出発し、車に揺られること3時間。自分の身長ほどに雪が積もった光景に子どもたちは興奮。生憎の雨が混じる天候でしたが、午前中は各々スキー・スノーボードのスクールに入り基礎を学びました。午後からは職員と一緒にリフトに乗って、力量に合わせてゲレンデを滑走し楽しみました。

スクールで基礎を学んだ事により、参加者全員“滑ってる”と自負できる程、シュプールを描く姿は様になっていました。帰りの道中、ゲレンデ近くの温泉に入って、濡れて冷えた体を温め、無事に全員怪我なく帰ってくることが出来ました。『また行きたい』『次は今回行けなかった子も、みんなで行きたい』『すごい滑れるようになって楽しかった』等々感想が帰りの車中で聞くことができました。



「若葉」伊賀市へ

『若葉』移転開所式

3月18日(日)

10:00~11:00

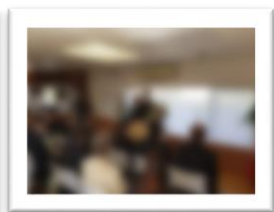
これまで名張市上八町にあった「若葉」が、伊賀市緑ヶ丘へ移転します。



国の方針である施設の「小規模化」と「地域分散」を進め、より家庭的な環境の中で養育を実践していく上で、長らく名張市上八町にあった地域小規模児童養護施設「若葉」をこの4月から伊賀市緑ヶ丘東町へ移転し業務を行うことになりました。

これまで伊賀管内にはいずれの施設も名張市内に立地していましたが、「若葉」を伊賀市へ移転することにより、伊賀地域のバランスある施設立地が進み、地域に密着し、地域の実情に即した施設運営に取り組み健全育成と養育環境の向上を図ってまいります。

地域住民さんの温かい理解と、伊賀市の協力を得る中で3月18日には移転開所式を無事に執り行うことが出来ました。



地域の身近な 相談窓口

児童家庭支援センター

「あかり」

でんわ (0595)

42-8331

- 子育てのこと、
家庭のこと・・・
- 一人で悩まないで
- 一緒に考えて
いきませんか

※4月1日より「あかり」に名称を変更
しました。

たくさんのご支援・ご寄附・ご寄贈

ありがとうございました♪

《個人》

小竹仁一 寺田マチ子 松生道子 竹川裕子 高島
道浦 吉田 前沢義秀 山谷直也 古川沙知 匿名

《団体》

キング観光 マックスバリュー中部 蔵持若緑会
アサヒ飲料株式会社 松阪主婦の友の会 SHG 財団
津カントリークラブ 日栄化工株式会社
有限会社ダスカジャパンクアウモテック

※平成 30 年 1 月 1 日～3 月 31 日

順不同・敬称は省略させていただいております。

= 法人の理念 =

社会福祉法人 名張厚生協会は「人としての尊厳」を尊重し、事業を利用する方々が、社会的・経済的・精神的に「自立した生活をおくること」、社会の一員として「より人間らしく豊かに生きること」、そして「生きがいをもって生きること」ができるよう、法人が築き上げてきた知識、技術、倫理、社会性を発揮し支援します。また、安心して適切な福祉サービスの提供と効率的な経営を行い、地域福祉の向上に貢献します。

= 名張養護学園の理念 =

「すべての人を尊重し、
児童の最善の利益を守り、
より積極的に支える」

= 基本目標 =

未来に羽ばたく夢と力を育む
笑顔あふれる暮らし



編集後記

この冬は 100 年に2～3度あるかないかの寒波の到来があり、非常に寒い日が続きました。昨年末に植えたチューリップの球根も地中で寒さに耐え、ようやく姿を現し始めました。球根一つに人生を重ね、辛いことに耐える力は後の喜びに繋がり、幸せを与えることに変わるもんだなーとしみじみと感じている今日この頃です。